

令和4年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和3年度)

●基本情報

事業名(取組名)		公共施設の相互利用（龍ヶ崎市・我孫子市）			評価番号	5-4-13-1(1)	
担当課		政策企画課	係	政策企画係	☒ 予算なし		
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり				会計	
	基本施策	【4】効果的・効率的な行財政運営の推進				款	
	施策	【13】広域行政の推進				項	
	主な取組	①広域的連携の強化				目	
			事業				

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☒	事業開始年度不明
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰り返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☐ 委託〔 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託 〕 ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（ ）				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☐ 国・県補助事業＋町事業(上乗せ) ☐ その他（ ）				
事業概要	町民の利便性向上と公共施設の利用促進・地域間交流を目的に、龍ヶ崎市・我孫子市と「公の施設相互利用に関する協定」を締結し、龍ヶ崎市・我孫子市それぞれの住民と同じ料金で、対象施設を利用することができます。				

●実施 ～D0～

事業 業績	龍ヶ崎市との間では、龍ヶ崎市文化会館や龍ヶ崎市都市公園（龍ヶ岡公園）など20の施設を相互利用しました。また、我孫子市との間では、我孫子市民図書館（アビスタ本館）など3つの施設を相互利用しました。				
支 出	主な歳出の節		令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）
	内 訳				
	事業費 計				
財 源	主な歳入の科目		令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）
	内 訳	国支出金			
		県支出金			
		受益者負担金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
	事業費 計				

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 町民の利便性向上と公共施設の利用促進，地域間交流が図れているため，貢献しています。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 広域的連携の強化は，自治体同士の横の繋がりが重要となりますので，町が主体となることは妥当であります。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☐ 余地がない ☒ 見直す余地がある 町民サービスの向上を図るとの観点から，相互利用できる施設等を見直すなどの余地はあります。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 町民サービスの向上を図るとの観点から，廃止・休止の可能性はあません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 （ ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 拡大 ） ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 町民サービスの向上を図るため，龍ヶ崎市・我孫子市との連携を強化するとともに，相互利用については，新たに利用可能となる施設等について検討を行い，改善に努めます。

●基本情報

事業名(取組名)		まちづくり協議会による情報交換会の実施（我孫子市）			評価番号	5-4-13-1(2)	
担当課		政策企画課	係	政策企画係	☒ 予算なし		
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり			会計		
	基本施策	【4】効果的・効率的な行財政運営の推進			款		
	施策	【13】広域行政の推進			項		
	主な取組	①広域的連携の強化			目		
					事業		

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☒ 事業開始年度不明	
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰り返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☐ 委託（ ☐ 全部委託 ☐ 一部委託） ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（ ）				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乗せ) ☐ その他（ ）				
事業概要	我孫子市と本町の首長・議会議長等で協議会を組織し、意見交換会などを通して情報共有、連携強化を図ります。				

●実施 ～DO～

事業業績	令和3年度は、幹事会及び総会を書面により開催し、事業・収支報告を行ったほか、両市町における公共施設の相互利用状況について報告しました。				
支出	主な歳出の節	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	
	内訳				
			事業費 計		
財源	主な歳入の科目	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	
	内訳	国支出金			
		県支出金			
		受益者負担金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
	事業費 計				

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 理由 我孫子市との連携強化が図れているため、貢献しています。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 理由 広域的連携の強化は、自治体同士の横の繋がりが重要となりますので、町が主体となることは妥当であります。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 理由 現状を継続していくことが重要となります。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 理由 広域的連携強化は効果的・効率的な行政運営を図るためには必要不可欠であることから、廃止・休止の可能性はあません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 理由
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	☒ 余地がない ☐ 余地がある 理由
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない 理由

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 （ ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大 ） ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 今後も引き続きまちづくり連絡協議会を通して我孫子市との連携を強化していきます。